



# 牟岐中新聞

校訓

敢 自 愛  
為 治 知

牟岐町立牟岐中学校  
5月号

2026.5.19

【学校教育目標】 ふるさとを愛し、心豊かでたくましく生きる中学生を育てる  
 【めざす生徒像】 学び合い、高め合い、ともにのびる生徒  
 あいさつで心と心をつなぎ、互いの良さを認めあえる生徒  
 心身ともに健康で、粘り強い生徒  
 自分の思いを正しく表現できる生徒



## 保小中対面式

4月10日(金)に町民体育館において、保小中の対面式を行いました。小中学校の教職員の自己紹介、生徒会長の浦岡さんの挨拶と小学校の代表の挨拶の後、全員でじゃんけん列車をしました。



子ども達はお兄さん、お姉さんというより童心にかえて、ゲームを楽しんでいるようでした。保育園の児童、小学校の児童、教職員を含めて笑顔が満ち溢れている空間はとてもよかったです。これから市宇ヶ丘学園で日常生活や行事等を通して、互いに協力し合って頑張っていく繋がりを感じながら、成長していってくれることを期待しています。

## 対面式 オリエンテーション

保小中の対面式の後に、中学校の対面式とオリエンテーションを行いました。生徒会本部役員が中学校生活で大切にしてほしいマナーやルールについて、わかりやすく工夫して説明できていました。



**【授業を大切にしよう!】**  
 塾に行けば良い、テストで良い点を取れば良いのではなく、1時間1時間の授業で『わかる』ことを大切にしていこう。



**【保健室はこんなところ】**

- ・ケガの応急手当をする。
- ・調子が悪い時に休む。
- ・相談や気持ちを聞いてもらう。
- ・体や心について勉強する。
- ・健康診断・保健指導を受ける。



**【自転車に乗るときは】**

- ・ヘルメットを必ずかぶる。
- ・あごひもまでつける。
- ・左側を通行する。  
縦一列になって通行する。
- ・交通ルールを守ること  
信号の確認、一旦停止  
蛇行運転の禁止  
前後左右の確認など。



# 新入生歓迎球技大会

4月20日(月)に町民体育館において、新入生歓迎球技大会を行いました。生徒会本部役員の進行のもと、学年対抗でドッジビー、ドッジボールの2種目で白熱した試合が繰り広げられました。



# 小中合同避難訓練

4月21日(火)に小中合同避難訓練を実施する予定でしたが、前日の雨天の影響もあり足場が悪かったため、一次避難場所である中学校裏山への避難経路を再確認して、安全に避難できるように実施しました。避難後に、全国各地で地震が起きている状況を踏まえ、自宅にいる時、登下校中の際の避難場所についても再確認するよう話をしました。



中学生への「おはしも」(リーダーの役割)  
中学生の皆さん。あなたたちには、もう一つの、「大人版・おはしも」を意識してほしいと思います。

- お:** 落ち着いて(パニックにならず、周りを見渡す)
- は:** 把握する(どこが危ないか、困っている子はいないか知る)
- じ:** 指示を出す・支える(支援)  
「こっちだよ」と声をかけ、  
弱い立場の人を支える
- も:** 目標になる(皆の避難の道しるべになる)

# 部活動の結果



徳島陸上競技カーニバル  
女子中学円盤投

- 1位 美馬優希奈さん 24m35
- 2位 一山 柚稀さん 22m88



県中学校  
軟式野球春季リーグ1勝2敗  
予選敗退



県中バスケットボール選手権大会 (男子)  
1回戦 対松茂 73-35  
2回戦 対阿南第一 51-34  
準々決勝 対八万 51-77  
(女子)  
1回戦 対池田 75-28  
2回戦 対城西 50-41  
準々決勝 対石井 31-79

県中ソフトテニス選手権(団体)  
2回戦 対大麻中 3-0  
3回戦 対阿波中 0-2

県ジュニア新人バドミントン大会  
中3女子 シングルス ベスト8 浅野 愛美さん  
中2女子 シングルス ベスト16 平井 舞奈さん

4月24日(金)授業参観・学年部会を実施しました。たくさんの保護者の方にご参観・ご出席いただき誠にありがとうございました。



【1年生:学活の授業】

1年生は学活の時間で、学級目標について意見を出し合い「百花繚乱」に決定しました。その次の授業で、その目標の実現のために、「自分の考えをもつ」「失敗から学ぶ」「何事にもあきらめずに挑戦する」「全員で支える」ことを実践目標に決めました。



【2年生:総合的な学習の時間の授業】

2年生は7月に予定されている職場体験学習に向けて「私の職業は何でしょう」というテーマで職業の特色や内容について個々で学んだ後、班で話し合い、学習を深めていきました。



【3年道徳の授業】

3年生は、YouTuberで有名なヒカキンさんを題材として、「全体のしあわせ」とは何かを考えていきました。「自分の意見を押し通すのではなく、他人の意見を受け入れていくことが大切である」との意見に納得する姿が多く見られました。